



すぎさん

http://www.suginami-school.ed.jp/sugl3sho

平成29年度 5月号
杉並区立杉並第三小学校
〒166-0003 杉並区高円寺南1-15-13
TEL 03-3314-1564
FAX 03-3314-1449

機械を使える人に

校長 織茂 直樹

近年さかんに言われる「情報化・グローバル化の進展に伴う社会のめまぐるしい変化」は「将来のこと」というより、すでに誰もが実感しつつある現実だと思えます。「今後10～20年程度で、約47%の仕事が自動化される可能性が高い」(マイケル・A・オズボーン氏: オックスフォード大学准教授)「日本の労働人口の49%が人工知能やロボット等で代替可能に」(野村総合研究所)等、科学技術の進歩によって労働の質が大きく変化するという有識者等のコメントを、見たり聞いたりしたことのある方もまた、多いのではないかと思います。

このような社会情勢の下、「子供たちに未来の創り手となるために必要な資質・能力を確実に備えることのできる学校教育を実現する」ことが、新しい学習指導要領の改訂の軸となっています。そして「私たち人間に求められるのは、定められた手続きを効率的にこなしていくにとどまらず、感性を豊かに働かせながら、どのような未来を創っていくのか、どのように社会や人生をよりよいものにしていくのか考え、自分なりに試行錯誤し、新たな価値を生み出していくことである」という考え方が示されています。

これからは「機械に使われる人でなく機械を使う人、機械にできないことができる人を育てなければならない」ということだと思います。そのことに関して、昭和生まれのアナログ世代の私には、以前からちょっと気になる、素朴な疑問がありました。

例えば「ICT機器の性能はすごいけれど、壊れたら直せる人は、どのくらいいるのだろうか…」ということです。中学校の技術家庭科で、トランジスタラジオの構造は何となく教わったし、ハンダ付けの作業もやりました。でも、コンピューターは本体の構造もプログラムも、とても素人の手には負えないように思います。ICやLSI等の電子回路の仕組

みや構造は複雑で、ロボットでないと製造もできません。身近な生活用具でも、電子部品の付いた機器、コンピューターで制御される機器の調整や修理は、大部分の人にとっては、とても難しくなったのではないのでしょうか。

昔のテレビでは、側面や背面のツマミをあこれいじくったり、アンテナの向きを変えたり、時には空手チョップを食らわしたりして、何とか画面の映りをよくしようとしたものです。でも今のテレビでは、調子が悪くなくても、リモコンのボタンを適当に押してみるか電池を替えてみるくらいしか、私にはできることはありません。

自動車も今やオートマチック車が当たり前で、電子制御の固まりです。エンストしても操作ミスなのか装置の故障なのか、容易には原因が分かりません。昔の車では、クラッチペダルやチョークレバー等、様々な機械系統の直接的な操作から、エンジンや変速ギア等各部の仕組みと、走って曲がって止まるという車の動きのつながりを体感的に理解でき、対応や整備に生かされたような気がします。

このように、現在、そしてこれからの科学技術は、さらに高度になっていき、ますます特殊化・専門化して、「できる人・分かる人」はいっそう少なくなり、細かく分業化していくものと思われます。そのような時代の流れの中で、子供たちが「機械を使える人」となるにはどのような力が必要でしょうか。

今の私が思い付くのは二つです。一つは身体操作の能力。キーボードやタッチパネル等を巧みに操作する「ゲームの達人」的な間接的な技能ではなく、ものを創り出せる直接的な技能、「手先の器用さ」だと思います。もう一つは言語操作の能力。人間は言語で思考します。言語が使えないと理論も理念も生み出せません。人間関係を築くのも言語です。

機械は道具です。人と機械の主従を逆転してしまわない使い手でありたいものです。

日	曜	朝	5月行事予定 学校行事	学年授業時数					
				1年	2年	3年	4年	5年	6年
1	月	児	委員会活動 安全指導日	5	5	5	5	5	5
2	火	帯	遠足①②(新宿御苑)	5	5	6	6	6	6
3	水		憲法記念日						
4	木		みどりの日						
5	金		こどもの日						
6	土								
7	日								
8	月	朝	避難訓練	5	5	5	5	5	5
9	火	帯	区特定課題調査③④⑤⑥ 内科検診④⑤⑥	5	5	6	6	6	6
10	水	帯	B時程 移動教室⑤⑥始 消防署見学④	5	5	5	5	6	6
11	木	学		5	5	6	6	6	6
12	金	読	移動教室⑤⑥終 自転車安全利用教室④	5	5	5	6	6	6
13	土								
14	日								
15	月	朝	クラブ活動 理科移動プラネタリウム④	5	5	5	5	5	5
16	火	帯	尿検査(全)	5	5	6	6	6	6
17	水	帯	午前授業 見守り隊	4	4	4	4	4	4
18	木	音	歯科④⑤⑥ 全校5時間授業 地域めぐり1	5	5	5	5	5	5
19	金	読	遠足予備日①② 全校5時間授業 地域めぐり2	5	5	5	5	5	5
20	土								
21	日								
22	月	朝	心臓検診① 教育実習始	5	5	5	5	5	5
23	火	帯	遠足予備日③④	5	5	6	6	6	6
24	水	帯	B時程 縦割り班顔合わせ(全)	5	5	5	5	5	5
25	木	集	2年生6時間授業始 内科検診①②③し	5	6	6	6	6	6
26	金	読	全校5時間授業	5	5	5	5	5	5
27	土	帯	土曜授業 学校公開 ICT公開授業	3	3	3	3	3	3
28	日								
29	月	朝	朝読書週間始	5	5	5	5	5	5
30	火	帯	セーフティ教室(全) 尿検査(全)二次 移動教室事前検診	5	5	6	6	6	6
31	水	帯	B時程 しいのみ移動教室始	5	5	5	5	5	5

5月の給食費の引き落としは8日と19日(再振)です。
※朝…全校朝会 音…音楽朝会 体…体育朝会 集…児童集会 帯…帯学習 読…読み聞かせ

5月の生活目標 「安全な生活をしよう」

希望と緊張で始まった新学期でしたが、新しい環境にも慣れ、伸び伸びと学校生活を楽んでいる姿が多く見られます。「慣れた」頃が一番気をつけるのは「安全」面です。「ちょっとなら大丈夫」は、実は「危険」と隣り合わせであることを指導していきます。登下校時の通学路、廊下・階段の歩行、遊んでいい場所、遊んではいけない物や場所、遊びのルール等確認し、気持ちを締め、楽しい学校生活とは、安全な学校生活であることを学んでいきます。また、5・6月、9・10月は「いのちの教育月間」です。生命の大切さや思いやりの心をあわせて学習していきます。

お元気で

とても貴重な1年間をどうもありがとうございました。可愛い1年生とともに、こちら1年で色々学ぶことも多く、皆様いつも支えていただいたおかげで無事終えることができました。(百瀬圭子)

元気な子供たちに囲まれ、幸せな時間を過ごすことができました。何事にも一生懸命頑張る子供たち。これからも全力でがんばることを忘れずにください。7年間、ありがとうございました。(浅沼百合)

心優しく、気もちのよい子供たちと一緒に、勉強に遊びご行事で一杯がまんばつすばらしい2年間でした。とても楽しかったです。どうもありがとうございました。(田中康生)

時間を惜しむように、校庭やノウの山で元気に遊ぶ子供たち。子供たちを見守る優しい眼差しと交通指導員さんや地域の方。「季節」を伝えてくれる杉三の森。幸せな日々感謝です。(馬淵真樹子)

杉三で過ごした8年半はあっという間でした。素直で思いやりのある子供たちと出会えたことは私の宝物です。新しい学校でもがんばります。みなさんどうもありがとうございました。(吉村かおり)

「自分らしい作品を作ろう」をめあてに図工の授業を行ってきました。わずか1年でしたが、とても充実した楽しい毎日を送ることができました。ご協力ありがとうございました。(鎌田尚子)

定年退職いたします。最後の7年間を杉三小で過ごすことができ幸せでした。皆様感謝の気持ちでいっぱいです。お世話になりました。ありがとうございました。(秋山あゆみ)

はじめまして

かわいい1年生を担当することになりました。子供たちも私も、毎日毎日杉三小の新しいことを学び、早く杉三小の仲間になれるように頑張っています。どうぞよろしくお願いします。(竹内不二子)

子供たちの笑顔と素敵な歌声、校内の緑が素敵な杉三小のこれからがとても楽しみです。子供たちのパワーに負けないよう頑張りますのでどうぞよろしくお願いします。(山内淑江)

この4月から新しく教員になりました平尾純子です。杉三小の元気いっぱいの子供たちと共に、楽しく成長していきたいと思ひます。どうぞよろしくお願いします。(平尾純子)

歴史ある緑豊かな杉三小で子供たちと過ごせることを大変うれしく思っています。元気いっぱいがんばります。どうぞよろしくお願いします。(奥田真理子)

小鳥のさえずり、豊かな緑、気持ちよい挨拶を返してくれる杉三小の子ども達との出会いに、嬉しいスタートを切りました。よろしくお願いします。(中村祐子)

八成小から来ました。しいのみ学級のある杉三小に着任できてうれしいです。巡回指導のため杉三小に毎日いらませんが、新しい特別支援教室をがんばります。よろしくお願いします。(佐島ふく子)

はじめまして。杉並第七小学校から来た山川愼です。明るく杉並第三小学校が拠点校なことを支えに、全7校を元気に飛び回りたいと思ひます。よろしくお願いします。(山川愼)

中野区立多田小学校から参りました。明るく素直な杉三の子供たちが心も体も健康に楽しく学校生活を送れるよう支えていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願いします。(中村未来)

お世話になりました

元気で優しい杉三小の子供たちが大好きでした。理科の学習では、自分の予想をしっかりともち、実験を目を輝かせながら行う姿がとても素敵でした。本当にお世話になりました。(小林龍)

元気いっぱい笑顔いっぱい杉三の子供たちと過ごすことができた幸せな毎日でした。これからも大きなけがはしないように気をつけながら、元気いっばい過ごしてくださいね。(岡持優香)

杉三小の子供たちと過ごした日々は思い出多い3年間となりました。保護者の方々の優しい言葉や教職員の皆様のおかげと感謝しております。ありがとうございました。(松崎美奈子)

子供たちも先生方も保護者の皆様も前向きに一生懸命で笑顔あふれる杉三小での1年はとても充実していました。お世話になりました。ありがとうございました。(野本厚子)

2年間お世話になりました。栄養士として、子供たちの元気の源である給食に関わることができ、とても充実した毎日を送ることができました。ありがとうございました。(久保久恵)

杉三小の子供たちの笑顔と共に楽しく仕事を行うことができました。保護者の皆様、地域の皆様を支えられた日々を今後の仕事にも生かしていきます。(小泉純也)

次の学校でもおいしい給食を作りたいと思ひます。皆さんも元気でいっばい杉三の給食を食べてくれるとうれしいです。7年間ありがとうございました。(斎藤恭平)

6年間ありがとうございました。杉三小の元気な子供たちにたくさん給食を食べてもらえてうれしかったです。これからも元気に頑張ってください。(伊藤美智子)

高井戸第四小学校から異動で来ました。非常勤教員の石野茂美と申します。花と木と緑いっばいの杉三小で過ごせることができて本当にうれしいです。よろしくお願いします。(石野茂美)

今年度から杉三小の一員になります篠崎泰佑です。明るく楽しくをモットーに子供たちの良さをたくさん見つけていきたいです。よろしくお願いします。(篠崎泰佑)

学級支援員の坂田百々子です。充実した学校生活を送れるように、子供たちをしっかり見守っていきたく思ひます。どうぞよろしくお願いします。(坂田百々子)

杉並第六小学校から来ました。村瀬俊工と申します。しいのみ学級の介助員です。好物が皮がパリパリした鯛焼きです。最近「杉三坂道」の歌が好きになりました。よろしくお願いします。(村瀬俊工)

理科室の安心安全な環境作りを心がけます。山の脇に幸せな枝が伸びていきます。そして子供たちに素敵な花を咲かせてもらえるよう頑張ります。よろしくお願いします。(山脇幸枝)

千葉県より参りました。杉三小の子供たちは給食をたくさん食べてくれると聞き楽しみです。おいしい給食を作れるように頑張ります。よろしくお願いします。(中村碧)

はじめまして。井荻中学校から来ました用務の登本章一です。小学校の勤務は5年ぶりです。いろいろ不慣れなところもありますが、どうぞよろしくお願いします。(登本章一)

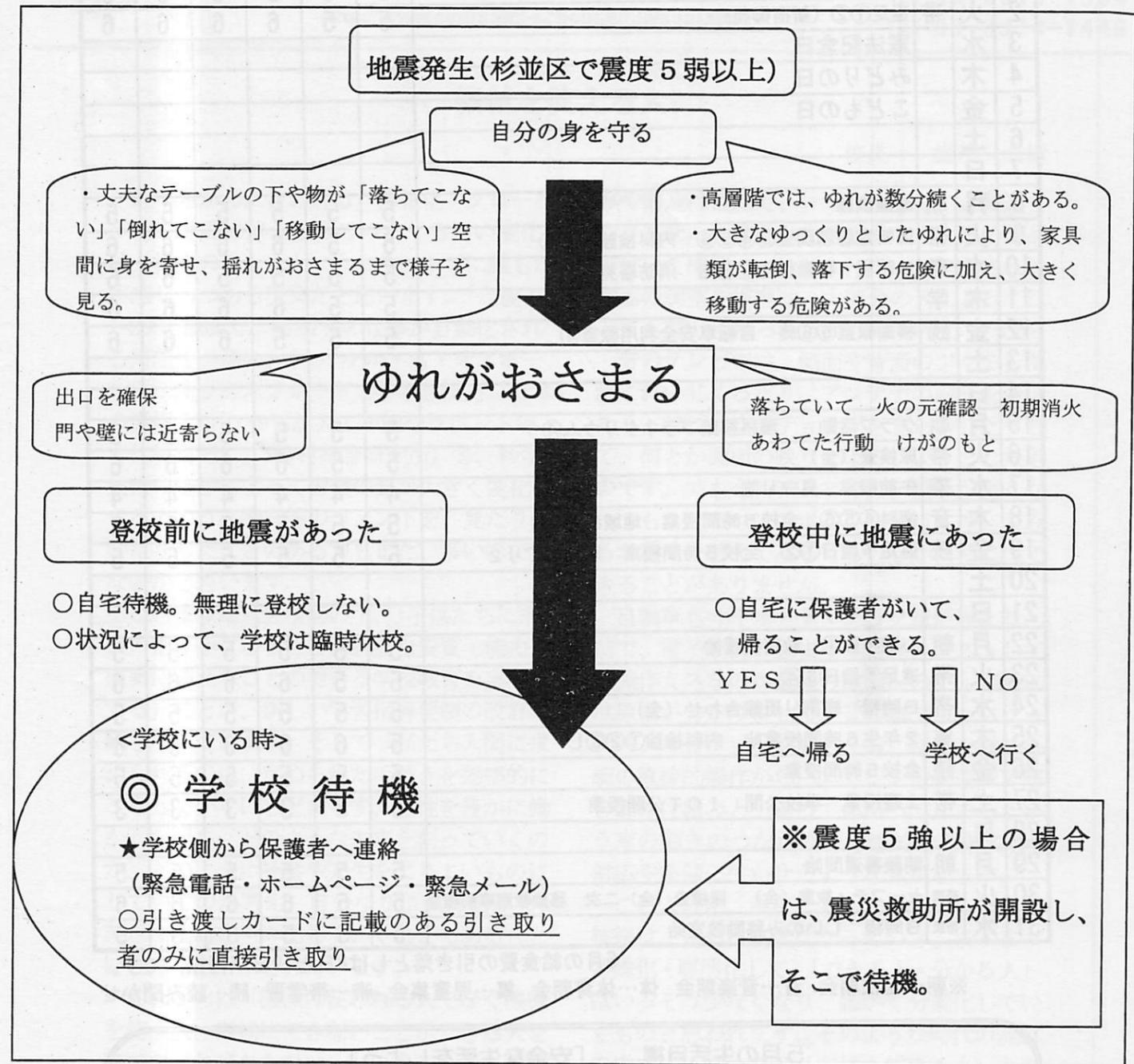
桃井第三小学校より転入してまいりました給食調理の上野浩造と申します。安全でおいしい給食を作ることを常に心がけて頑張りたいと思ひます。よろしくお願いします。(上野浩造)

和田小学校から移動してきました。明るく楽しい子供たちに負けないように笑顔忘れずに頑張っていきたいと思ひます。(高橋なおみ)

震災(震度5弱以上の地震)が発生した時の対応

震災が発生した際、杉並第三小学校の対応についてお知らせいたします。

震災発生時にどのような行動をとればよいのかについてご家族でぜひ、話をしてみてください。



～特別支援教育～

今年度の特別支援教育コーディネーターは、しいのみ学級担任の古林基子、養護教諭の中村未来、4年担任の工藤希美子が務めます。校内外の関係者や関係諸機関との連絡調整、保護者の方の学校窓口などの役割を担います。本校では、子どもたち一人一人の教育的ニーズに応じた学習支援を行えるよう、「スタディールーム(校内支援教室)」を開設しています。学習に偏りやつまづき等の困難があり、個別の指導により学習の意欲や成果の向上が期待されるお子さんが対象となります。入室をご希望される場合は担任までお申し出ください。詳細については、先日お配りした平成29年度「スタディールーム(校内支援教室)」開設のお知らせでご確認いただき、担任またはコーディネーターにいつでもご相談ください。

また、区教委からのパンフレットや保護者会でお知らせした「特別支援教室(すぎさん教室)」も今年度から開設されます。スタディールームとともに重層的な支援体制で子供たちの学習の充実を図っていきますので、こちらについても遠慮なくご相談ください。